

取扱説明書

10翼 1300W／マイコンタイマー付

型式番号

371013SD

11翼 1500W／マイコンタイマー付

型式番号

371115SD

デロンギヒーターの特長

①空気を汚さない

燃焼式ではないので、部屋の空気を汚すことがなく、臭いもしません。

②静かです

自然対流・ふく射形でモーターがないため、運転中でもほとんど音がしません。寝室や勉強部屋にも最適です。

③マイコンタイマーで暖房時間を予約

マイコン式プログラムタイマー付です。毎日、指定した時刻に暖房の入／切を自動的に行ないます。

④オイル交換不要の安全設計

密封したオイルを電気で暖め、パネル内を循環させるシステムなので、燃料による事故の心配がありません。また、オイルは難燃性で、補充や交換も一切不要です。

⑤消費電力の節約

サーモスタットと電力切替えスイッチで適温を設定・コントロール。電気のムダ使いを抑えます。

このたびはデロンギヒーターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのヒーターを正しく使用していただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みの後も大切に保管し、わからないときは再読してください。

も く じ

●各部の名称とはたらき、仕様	1 P
●ご使用前に	2 P
●操作パネルの名称とはたらき	3 P
●現在時刻の合わせかた	4 P
●オート運転のしかた	5～6 P
●オート運転の上手な使い方、ご注意	7 P
●マニュアル運転のしかた	8 P
●使用上のご注意	9 P
●知っておいていただきたいこと	10 P
●日常の点検とお手入れ、保管のしかた	10 P
●アフターサービス	裏表紙

各部の名称とはたらき、仕様

この図は10翼タイプです

マイコン式操作パネル

液晶ディスプレイ／マイコン式タイマー、電力切替えスイッチ、サーモスタットで構成されています。（※詳しくは3P参照）

コード・ホルダー

移動や保管の際に、電源コードを巻きつけ収納します。プラグ差し穴つき。

電源コード

差込みプラグ

ラジエーター／放熱板

難燃性オイルが密封されていて、下部には棒状の電気ヒーターが入っています。電気により熱せられたオイルがパネル内を循環。複数の翼（放熱板）で効率よく放熱し、自然対流により部屋を暖めます。

キャスター

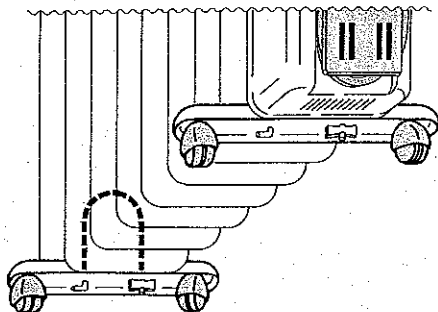
仕様

製品名称		デロンギヒーター／マイコンタイマー付	
型式番号		371013SD	371115SD
適用畳数		4~7	5~8
電圧／周波数		AC-100V／50・60Hz	
消費電力(W)	強	1,300	1,500
	中	750	900
	弱	550	600
翼（放熱板）の数		10	11
外形寸法(mm)	幅	200	
	長さ	560	605
	高さ	640	
重量(kg)		17.5	19
タイマー		液晶ディスプレイ／マイコン式タイマー	
電源コードの長さ		2m	

●キャスターの取り付け方法

付属のキャスター（2本）を、U字型金具、ナットで本体下部の両端にしっかりと固定してください。

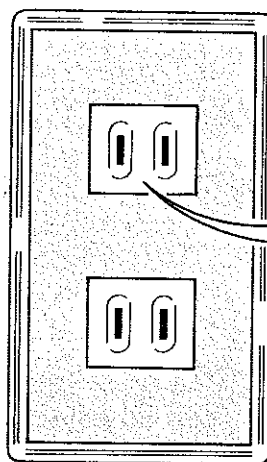
※キャスターを誤って本体上部に取り付け使用しますと故障や事故の原因となり危険です。絶対におやめください。



ご使用の前に

●必ず守っていただきたいこと——電源について

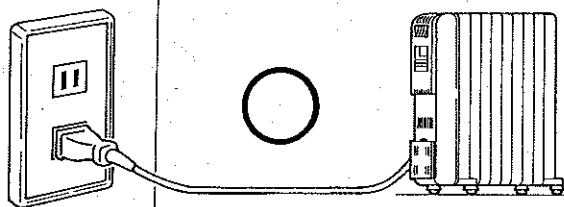
- 一般家庭用100V、50・60Hzでご使用ください。
- 電源は、必ずヒーターの定格消費電力以上の容量をもつコンセントおよび回路から直接おとりください。
- 371013型の定格電流は13A、消費電力は1,300Wですが「15A」を目安にしてください。
- ご自宅の契約電力が充分かどうか確認のうえ設置してください。契約電力は、電力料金の請求書／基本契約欄に〇〇A（アンペア）と記されています。ご不明の点は、電力会社にお問い合わせください。（10P参照）
- ヒーター使用時にブレーカー（分電盤内にある配線遮断器）が落ちるときは、電力会社か販売店にご相談ください。（10P参照）



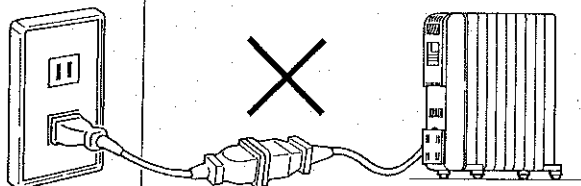
アンペア ボルト
15A 125V

※「15A 125V」と記されている壁面のコンセントをご使用ください。

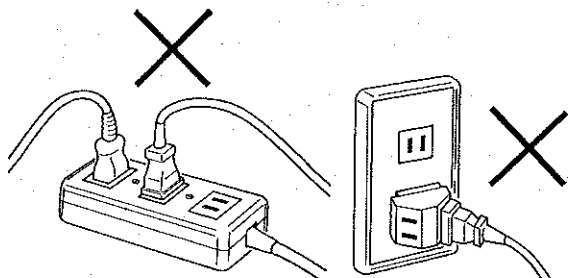
- 電源は、壁面のコンセントから直接おとりください。延長コード、テーブルタップ、ソケット等の使用は危険です。絶対にやめてください。



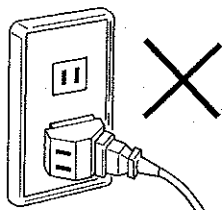
15A以上の壁面コンセントに直接差し込みます。



延長コードは使用できません。

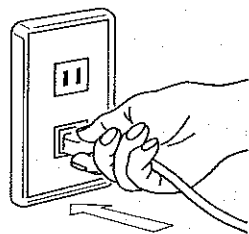


テーブルタップの使用、タコ足配線は危険です。

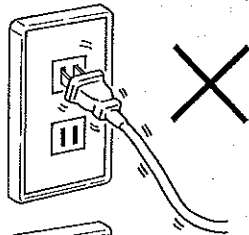


ソケットにはつなげません。

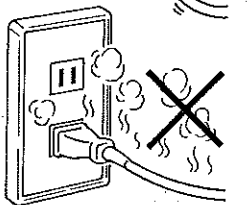
- 差し込みプラグは、コンセントに根元までしっかり入れてください。



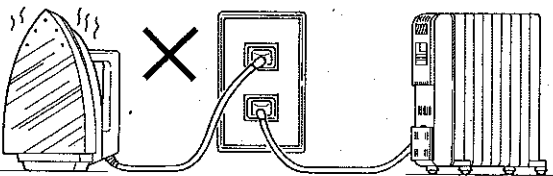
- 差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。



- 差し込みプラグや電源コードが異常に熱くなる時は、ただちに使用を中止し、お求めになった販売店にご相談ください。



- 二口コンセントを使用する場合、片方の差し込み口は空けたままにし、他の電気器具と併用しないでください。



操作パネル／各部の名称とはたらき

電力切替えスイッチ

2つのスイッチで、消費電力を強、中、弱の3段階に調節できます。371115SD型は、1500W、900W、600W、371013SD型は1300W、750W、550Wです。スイッチ下部を押し込むとON（通電）になります。

各種モード

モード・ボタンを押すことにより、液晶ディスプレイの左端に◀で表示されます。

モード・ボタン

液晶ディスプレイに表示される時刻および各モードの選択／切替えを行ないます。

プログラム・ボタン

事前に設定したプログラムを起動したり停止したりするための押しボタンです。

サーモスタット・スライダー

室内温度を自動調節、適温の設定に使用します。右にスライドするにしたがって温度が高くなります。暖房開始時は、スライダーを「高」の位置(右端)にセットしてください。

液晶ディスプレイ/マイコンタイマー

モード・ボタンおよび時刻セット・ボタンを押すことにより各モード、時刻が表示されます。タイマーは、オート運転の際はもちろん、単に“時計”としてもご利用いただけます。

運転切替えボタン

プログラムによるオート(自動)運転か、そのつど、電力切替えスイッチの入/切で暖房を行なうマニュアル(手動)運転かを選択するものです。

※オート運転から始める場合は、このボタンを押す必要はありません。

時、分ボタン

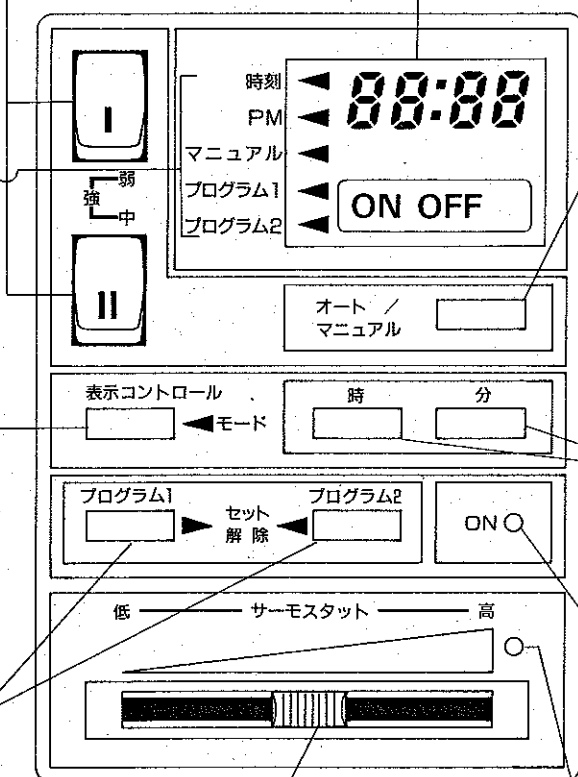
現在時刻合せおよびオート運転(プログラム1、2)の時間枠を設定する際に使用します。

パイロット・ランプ

プログラムをセットした時およびマニュアルモードで、電力切替えスイッチを入れたと点灯します。

サーモスタット・ランプ

サーモスタットの入/切を表示します。



現在時刻の合わせかた

時計機能を利用する場合およびオート運転を行なうためには、現在時刻合せが必要です。

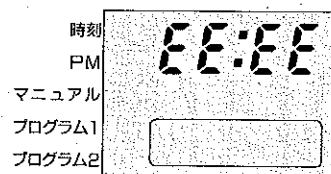
操作手順

画面の変化

ご注意

- 90秒以内に次の操作が必要です。
このタイマーの操作受付時間は90秒間です。モード・ボタンを押してから90秒以内に次の操作をしなかった場合や、「時」のみをセットして「分」をセットしないで放置すると、ディスプレイ表示が自動的に★図に戻ります。このときは、操作手順2からやり直してください。

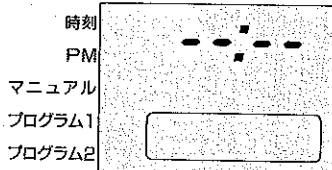
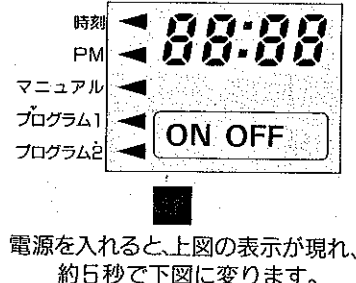
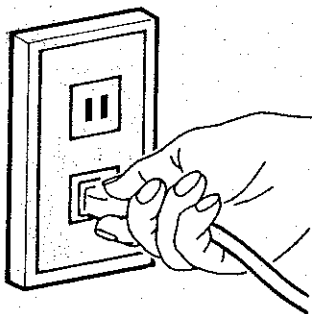
- エラー表示について
手順を誤り、指示されていないボタンを押したときなどに表示されます。このときは、モード・ボタンを押すか差し込みプラグをコンセントから抜き、最初からやり直してください。



1

電源の接続

差し込みプラグを
コンセントに入れます。



2

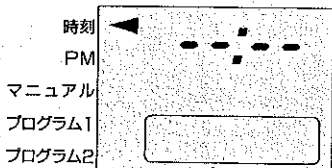
時刻モードを選択

モード・ボタンを1回
押します。

表示コントロール



◀印が「時刻」モードを指します。



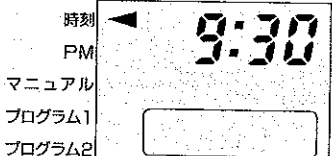
3

時刻のセット

時、分ボタンを
必要な回数押します。



[例] 午前9時30分の場合



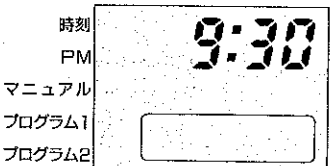
※午後の場合は右参照

4

時計表示にする

モード・ボタンを5回
押します。

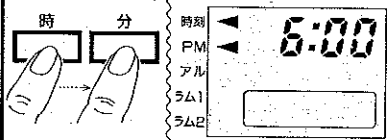
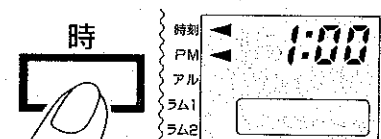
表示コントロール



画面の◀印が消え、時計表示になります。

午後の時刻をセットする場合

時ボタンで0~12を一巡させ、◀印が「PM」モードを指してから時、分ボタンを必要回数押します。



「午後6時」のセット例

以上で「現在時刻合せ」は完了です。

オート運転のしかた

マイコンタイマーで、1日に2回のオート運転(プログラムによる自動暖房)ができます。

[例：午前5時から午前10時まで、1回暖房する場合]

操作手順

画面の変化

1

現在時刻合せ

(済んでいれば不要)

前頁の要領で、現在時刻を
セットします。

4 ページ参照

時刻 9:30
PM
マニュアル
プログラム1
プログラム2
現在時刻 午前9時30分(仮定)

2

モードを押し、プログラム1に

モード・ボタンを2回押し、◀印
をプログラム1の位置にします。

(枠内にONが表示されます)

表示コントロール

モード

時刻
PM
マニュアル
プログラム1
プログラム2
ON

3

開始時刻のセット

時、分ボタンを押し、「午前
5時」をセットします。

時 分

時刻 5:00
PM
マニュアル
プログラム1
プログラム2
ON

4

モードを押し

モード・ボタンを1回押しと、
開始時刻が確定します。

(OFF表示)

表示コントロール

モード

時刻
PM
マニュアル
プログラム1
プログラム2
OFF

5

停止時刻のセット

時、分ボタンを押し、「午前
10時」をセットします。

時 分

時刻 10:00
PM
マニュアル
プログラム1
プログラム2
OFF

プログラム2もセットする場合は次頁を参照。

6

運転時間の登録

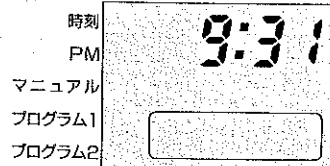
モードボタンを3回押します。

(現在時刻表示になり、運転時間が確定)

表示コントロール



モード



7

プログラム1のセット

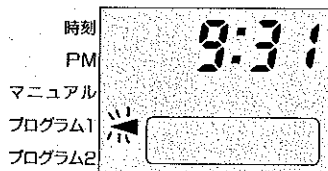
プログラム1のボタンを押します。

(◀印がプログラム1を指し、点滅)

プログラム1



セット
解除



以下、画面は変わりません。

8

電力スイッチを入れる

電力切替えスイッチを2つとも入れます。

(あらかじめスイッチを入れておく)



←入



←入

現在時刻がプログラム時間内なので、すぐに運転が始まります。オート運転時はあらかじめ電力スイッチを入れておかないと開始時刻がきても運転されません。

9

サーモスタットを「高」に

サーモスタット・スライダーを右端に動かします。

低

高



右端へ→

サーモスタット・スライダーが低側にあると、暖房の開始時刻がきても運転されません。あらかじめ「高」の位置にセットしてください。

以上、オート運転のための操作は完了です。

プログラム2もセットする場合

- ① 操作手順5のあとに、モード・ボタンを1回押し、「プログラム2」モードにする
- ② 時、分ボタンで、開始時刻をセット
- ③ モード・ボタンを1回押し
- ④ 時、分ボタンで、停止時刻をセット
- ⑤ モード・ボタンを1回押し
- ⑥ プログラム2のボタンを押す
- ⑦ 電力切替えスイッチを2つとも入れる
- ⑧ サーモスタットを「高」にセット

——操作完了

適温の設定方法

お望みの室温になったら、サーモスタット・スライダーを低側へゆっくり動かし、サーモスタットランプが消えた位置で止めます。これで「適温」がセットされ、あとはサーモスタットがヒーターのON/OFFを自動制御し、適温を保ちます。室温を上げたいときは、スライダーを右へ、下げたいときは左へスライドさせます。

低

高



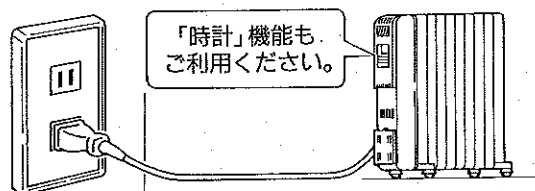
低の方へゆっくり動かし、ランプの消えたところで止めます。

低

高



オート運転の上手な使い方、ご注意



差込みプラグをコンセントから抜くと、時計機能は解除されます。オート運転および時計表示のため、差込みプラグはコンセントに接続したままにしておくと便利です。ただし、ご不在などで長期間使用しない場合は、必ず差込みプラグを抜いてください。

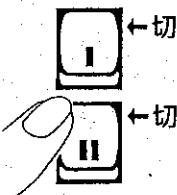
オート運転を途中で停止するには

1. プログラム・ボタンを1回押してください。

「プログラム」モードを指していた◀印が消え、運転が停止します。

2. 電力切替えスイッチを両方とも「切」ってください。

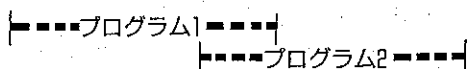
ただし、次回のプログラムをスタートさせる場合は、事前にスイッチを「入」れておいてください。



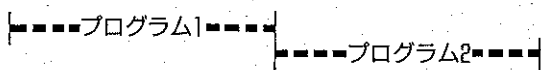
プログラム設定上のご注意

2つのプログラムの作動時間がダブったり、つながったりすると、プログラムはセットできません。

(ダブった場合)

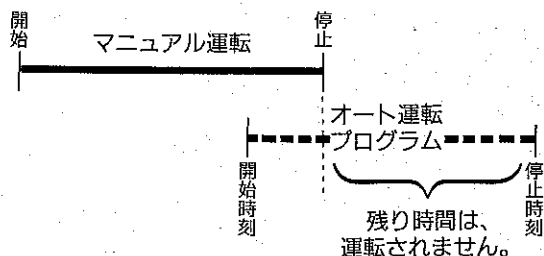


(つながった場合)



オート運転とマニュアル運転を併用するときのご注意

- マニュアル運転がオート運転の時間枠に食い込んだ場合は——プログラムの残り時間は運転されません。(ただし、翌日はプログラム通り運転されます。)



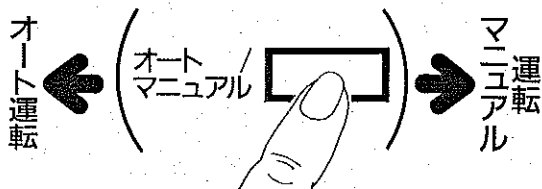
プログラムの残り時間を運転したいときは、プログラム・ボタンを2回押し、再セットしてください。

- マニュアル運転への切り替え方

運転切替えボタンを押します。既に、オート運転の際、サーモスタット、電力切替えスイッチ等はセット済なので、◀印が「マニュアル」モードを指し点滅、すぐに運転が始まります。このとき、サーモスタット・ランプが点灯します。

- オート運転への切り替え方

運転切替えボタンを押します。「マニュアル」モードを指していた◀印が、所定の「プログラム」モードを指します。



マニュアル(手動)運転のしかた

—— タイマーによらず、そのつど暖房するときの操作方法 ——

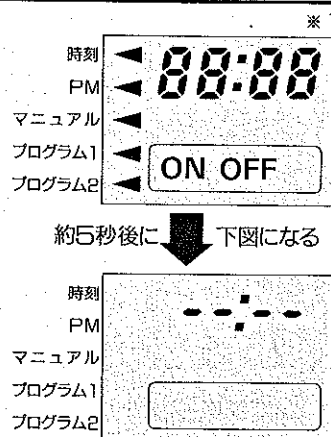
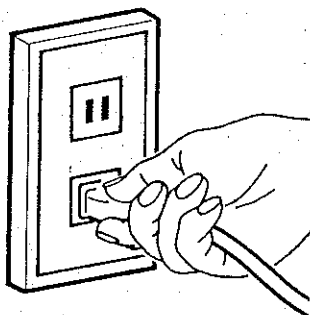
操作手順

画面の変化

1 電源の接続

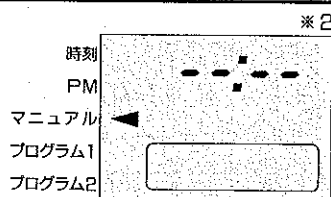
差し込みプラグをコンセントに入れます。

※既に電源が入れられ、時計として使用している場合、およびプログラムセット中の表示は図(※1,2)と異なりますが、以下の操作から同様に行なえます。



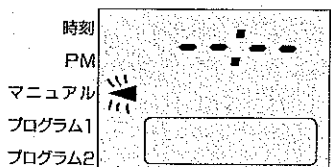
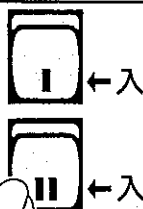
2 運転の切り替え

運転切替えボタンを押し、◀印をオート/マニュアルの位置にします。



3 電力スイッチを入れる

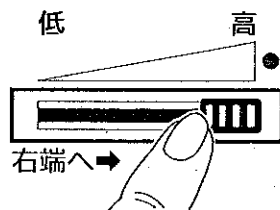
電力切替えスイッチを2つとも入れます。
(画面の◀印が点滅します)



以下、画面は変わりません。

4 サーモスタットを「高」に

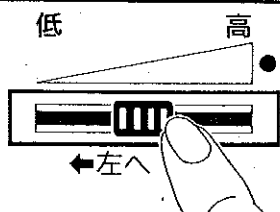
サーモスタット・スライダーを右端に動かします。
(サーモスタット・ランプが点灯し、運転開始)



室温によっては、サーモスタット・スライダーが低の側にあると運転されません。運転当初は、高の位置にします。

5 適温の設定

お望みの室温になったら、サーモスタット・スライダーを低側にゆっくり移動し



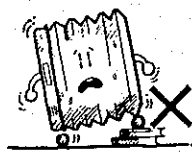
サーモスタット・ランプが消えた位置で止めます。あとは、サーモスタットが自動的にON/OFFして適温を保ちます。

☞ 運転を停止するときには、電力切替えスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜きます。

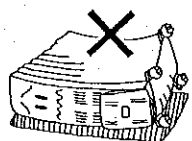
使用上のご注意

設置場所について

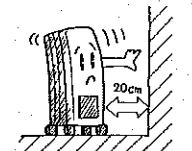
- 平らなところに置いてください。



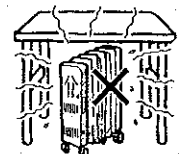
- 横倒しにして、使用はできません。危険です、絶対におやめください。



- 壁や家具から20cm以上離してください。



- 机の下など、本体の上をふさがないようにしてください。



ヤケドを防ぐために

小さなお子様には特にご注意ください。

- 運転中および停止直後は、ラジエーター(放熱板)に触れないでください。



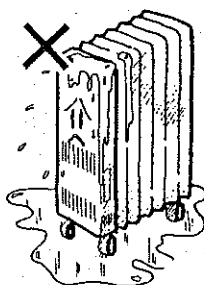
- ラジエーター(放熱板)のスキ間に手や足を入れないでください。



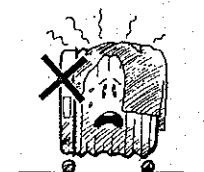
- 移動は、ヒーター本体が冷えてから行なってください。

万一の感電、事故を防ぐために

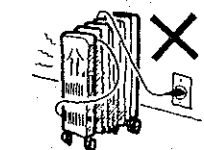
- 水や湿気の多い場所での使用はやめてください。



- 本体に水をこぼさないでください。万一、水をこぼしたときは、すぐに使用を中止し、お求めになった販売店にご連絡ください。



- 乾燥の目的で、洗濯物等ぬれたものをかけないでください。

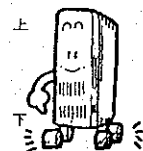


- 電源コードが本体に触れないよう注意してください。

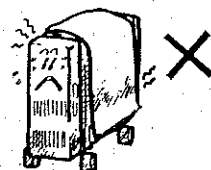


過熱による事故、故障を防ぐために

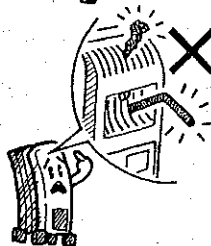
- キャスターは、必ず本体下部に取り付けてください。



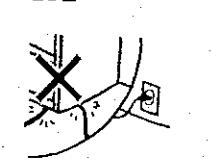
- 本体の上に物をのせないでください。ふとん、毛布などを暖めるのも危険です。



- ラジエーター(放熱板)の間に物をはさまないでください。



- 格子部のスキ間から物を差し入れないでください。



- 電源コードの上に、家具などの重い物をのせないでください。

知っておいていただきたいこと

定格電流について

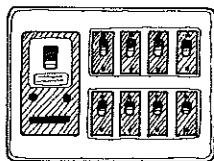


●ヒーター設置の際は、お求めのヒーターの定格電流とご家庭内の他の電気器具の使用電流を合計し、その数値(アンペア数)が契約電力(2P. 参照)を越えていないことを確認してください。

※ちなみに、電流(A)は、消費電力(W)を電圧(V)で割って算出します。例えば、1,500Wの消費電力を持つ器具は、電圧100Vで割った15Aが定格電流の目安となります。

$$\text{電流(A)} = \frac{\text{消費電力(W)}}{\text{電圧(V)}}$$

ブレーカーについて



●ご家庭の分電盤内には、通常、複数のブレーカー(配線用遮断器)が設置されています。これは、その回路で電気を使い過ぎた時、何らかの原因で瞬時に大電流が流れた時(短絡)に、自動的に電気を切り、電気回路を守るためのものです。

●契約電力が不足している場合や、契約電力は足りていても、一つの電気回路の容量を越えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働きます。

※契約電力が不足している場合は、電力会社に、契約電力の増量を依頼してください。

ラジエターの表面温度について

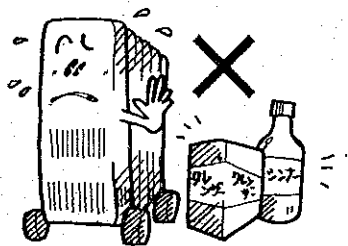
●運転中のラジエターの表面温度は、最高で約90℃になります。

●個体はお湯などの液体と違い、1・2秒間触れてもヤケドはしません。しかし、それ以上長いとヤケドをする危険性がありますので、運転中および停止直後は、ラジエター(放熱板)に触れないようにしてください。

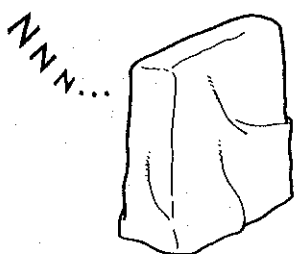
日常の点検とお手入れ、保管のしかた

※点検・お手入れをするときは、差込みプラグをコンセントから抜き、ヒーター本体が冷えてから行なってください。

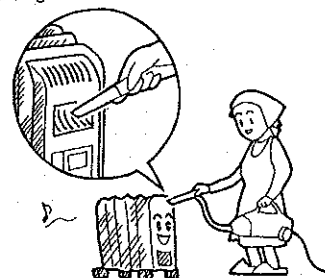
本体は、乾いた柔かな布でふいてください。汚れがひどいときは、布にお湯を含ませ、かたく絞ってからふいてください。洗剤やクレンザー、シンナーなどは使用しないでください。



長期間使用しない場合は、箱に入れるか本体にカバーをしてホコリを防ぎ、乾燥した場所に保管してください。保管の際は、横倒しにしたり、本体の上に物をのせないようにしてください。



ときどき、操作パネル内のホコリを格子部から掃除機で吸い取るか吹き出してください。長期の保管のあとは、たまったホコリが故障の原因になることがあります。ご注意ください。



アフターサービスについて

●使用中に異常が生じたときは、ただちに全ての電力スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜き、お求めになった販売店にご相談ください。

●万一故障したときは、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期②製品名称と型式番号③故障の状況——をご連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便などを利用して返送される場合は、故障の状況を記したメモを商品パッケージに同封くださるようお願いいたします。

●ご転居、ご贈答、その他保証期間中の修理などのアフターサービスについてご不明の

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30~18:00)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

修理について Tel.0120-804-280

お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291

 デロンギ・ジャパン株式会社

お客様メモ

購入年月日：平成 年 月 日 製品名称：デロンギヒーター マイコンタイマー付

購入販売店名：

TEL.

住所：〒

デロンギ・ジャパン株式会社

本社／〒101 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル5階 ☎03(5256)6321(代)
大阪支店／〒541 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル5階 ☎06(263)6116(代)